

令和5年7月30日
今週のベストショット



青松園B 和白新町パイレーツ 対 奈多フェニックス戦
一回表、パイレーツ四番今泉選手の足で稼いだHRでリードするも・・・
写真：塩浜ジャガーズ 小金丸 賢二

青松園B 緊迫の試合展開は…。

和白新町パイレーツ（2勝4敗1分）301100 5 岩吉●一朝野
奈多フェニックス（5勝2敗）102012X 6 今林（勇）○一実延

HR：今泉（新町パ）望月（奈多フ）盗塁：助安、今林（勇）、望月、今林（英）（奈多フ）

早朝にも関わらず、グラウンドにいと汗が噴き出す猛暑の中、試合は6時55分に始まった。先攻は和白新町パイレーツ。一番山崎選手が鋭い打球を放つと相手の失策を誘い、いきなり無死二塁の好機を迎える。すると続く二番今村選手の左前安打であつという間に先取点を挙げてしまう。更に四番今泉選手が2ランHRを放ち、初回から幸先よくパイレーツが3点を奪った。対する奈多フェニックスも一番助安選手が失策で出塁、二進すると、二番今林（勇）選手のバントが内野安打となり無死一三塁と好機を掴む。ここで、今林（勇）がいきなりディレードスチールを仕掛け、送球間に助安選手が本盗で1点を返し、今林（勇）選手も三進しチャンスを広げる。更に失策が絡み、一死一三塁の状況で五番今林（英）選手の打球は二塁後方を襲う小フライ。この打球をセカンドが背面キャッチした状況を見て三走が本塁を突いた。が、スタートが早くアピールプレイでチェンジとなった。その後、両チームとも追加点を挙げ5対4とパイレーツ1点リードで迎えた六回裏、フェニックスは先頭七番実延選手が左前安打で出塁すると、一死後九番山本選手も左前安打で続く。更に一番太田選手が中前に運び同点とし、最後は二番今林（勇）選手が中前に運び逆転に成功した。両チーム遊撃手の好守が光る引き締まった7月最後の試合は、フェニックスの鮮やかな逆転サヨナラ勝ちで幕を下ろした。

（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：小金丸 賢二）



奈多フェニックス先発の今林（勇）投手。



和白新町パイレーツ先発の岩吉投手。



一回表、三塁手の頭を超えるヒットを放つパイレーツ二番今村選手。



一回表、本塁打を放ち滑り込むパイレーツ四番今泉選手。



一回裏、内野安打で激走する今林（勇）選手。



四回表、フライを抑える実延捕手。



五回裏、本塁打を放ったフェニックス三番望月選手。



六回裏、サヨナラ安打を放った今林（勇）選手。



激闘の試合後挨拶。

青松園A 新町ウィンズ4本塁打で14得点と打線大爆発のコールド勝ち！

奈多クラブ (1勝6敗) 00000 0 吉田●-安河内(祐)

新町ウィンズ (2勝3敗) 4451X 14 藤田○-今林

HR: 山口、柴田、花田、藤田(新町ウ) 2BH: 桐島3、今林、長岡、町田(新町ウ)

新町ウィンズは初回、一番山口選手の先頭打者HRで勢いに乗ると、四番柴田選手にもHRが飛び出し初回から4点を奪う好スタート。二回裏にはウィンズ藤田投手が自らを援護するHR、三回裏には花田選手もHRを放ちこの回終了時点で13得点。大量得点でリズムに乗った藤田投手はこの試合7奪三振と奈多クラブに流れを譲らない見事なピッチングを披露する。一方、奈多クラブは藤田投手から何とか点を奪おうと喰らいつくものの、この試合1安打と二塁を踏む事もできずに五回コールドでゲームセット。ウィンズがチーム4本塁打、14得点と圧倒的な強さを見せつけた。

(記事・写真: 三苦三球会 船橋 史哉)



完封勝利の新町ウィンズ藤田投手。



奈多クラブ先発の吉田投手



一回表、チームを勢いづける先頭打者HRのウィンズ山口選手。



必死に追いかけたがあと一步届かず…



二回裏、自らを援護するHRを放ったウィンズ藤田投手。



必死に食らいてチーム初安打を放った住田選手。



いい当たりを放つも惜しくもファール。奈多クラブ安河内（祐）選手。



本塁打を放ったウィンズ4選手。

奈多グラウンド 三苦対決！制したのは・・・

三苦ホーネッツ (4勝1敗) 5 0 6 0 4 15 平川○、堺ー広木、平川
ブルーマーリンズ (3勝4敗1分) 0 0 0 0 0 0 水上●、中山ー坂本、横山

3BH：広木、稲葉 (三苦ホ) 2BH：広木 (三苦ホ) 盗塁：平川 (三苦ホ)

ブルーマーリンズ新人の好投手、水上投手の豪速球を前年度優勝の三苦ホーネッツ打線がどう迎え撃つか非常に見ものであったが、一回表三苦ホーネッツは先頭の一番広木選手がいきなりセンターオーバーの鋭い打球を放つ。一気に三塁まで到達すると、続く二番国吉選手の打球は高いバウンドでブルーマーリンズ三塁手の末松監督のグラブをはじく内野安打となり攻略難であるだろうブルーマーリンズ先発の水上投手からいとも簡単に先制点を奪う。ブルーマーリンズ水上投手はその後バッテリーミスなどもあったが、2ストライクと追い込んでから三苦ホーネッツ攻撃陣のコンパクトなスイングで野手の間に落ちるような打球が多くなかなか投球のリズムが作れない。初回から申し分ない援護をもらった三苦ホーネッツ先発の平川投手の低めに決まるドロップにブルーマーリンズ打線は次々と空振りを喫する。このボールが厄介だったのか、ブルーマーリンズはこの試合わずか1安打。ホーネッツはクリーンヒットこそ少なかったが、速球投手への見事な対応で確実に得点を重ねていき、終わってみれば15-0とホーネッツの大勝であった。(記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭)



ブルーマーリンズ 先発の水上投手。



一回表、先制打を放つホーネッツ二番国吉選手。



一回表、追い込まれながらもコンパクトなスイングで適時打を放つホーネッツ九番只松選手。



三回表、逆方向へ二塁打を放ったホーネッツ一番広木選手。

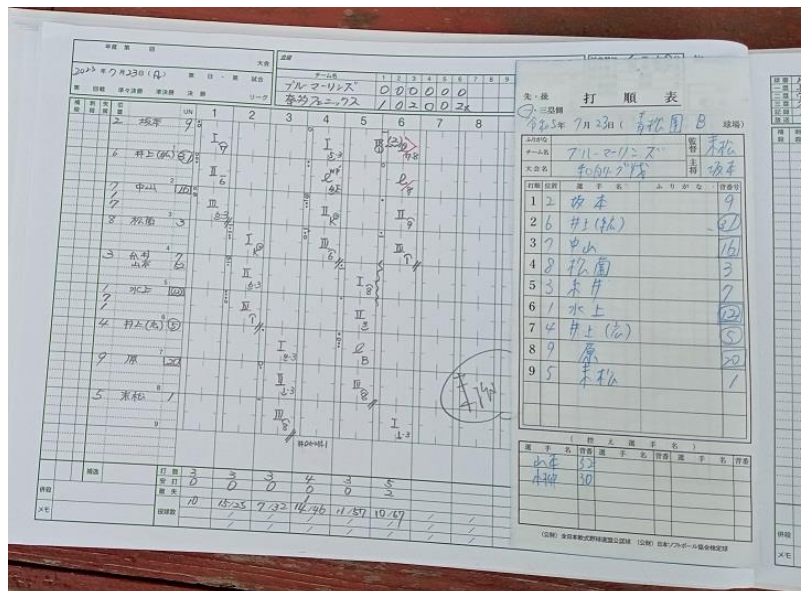


ブルーマーリンズ 二番手の中山投手。

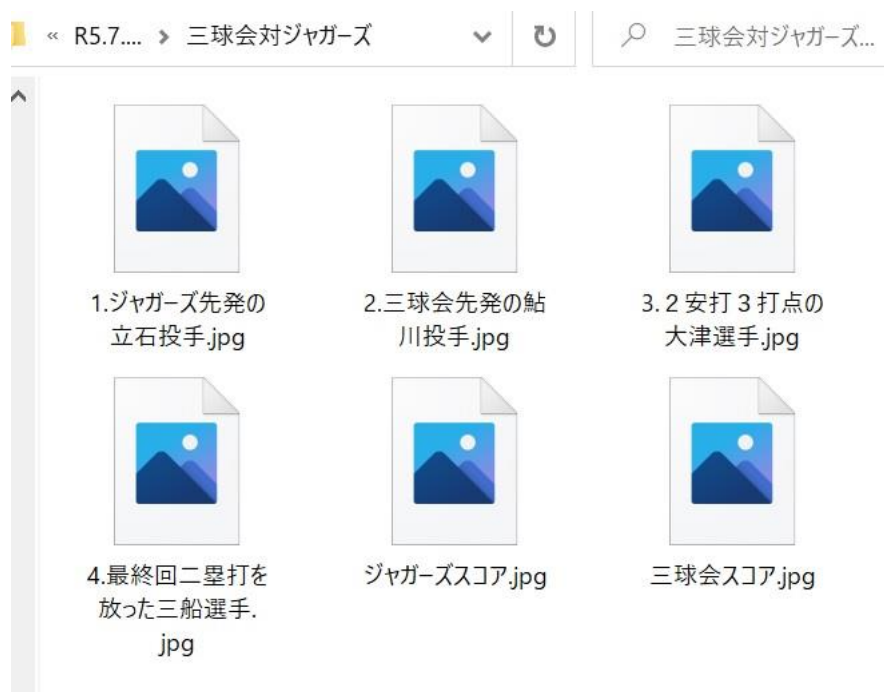
編集部長 11年目、大分県から遅刻することなく3時間半かけて通っている奈多サンデーズ八島からお願いがあります。

審判チームの方は、協力・確認し合って記事・写真ともに月曜日夜締め切りを厳守してください！！！！

各チームごとにスコアブックとメンバー表を1枚にまとめて、切れることなく・影が写ることなく撮影してください。その写真1枚でイニングや打順、選手名等のチェックができれば編集時間を短縮できます。



写真には掲載する順番がわかるように必ず番号を振って送ってください。ダウンロードすると、写真の名称順になり順番が変わってしまう。写真の内容は本文の後ろに番号とともに書いていただいても結構です。



後方からのバッター写真は、アングルの有り触れてつまらない。ランナーコーチ横やセンター後方、ランナーと正対した位置などから表情が見えるものを撮影してみてください。もっとアグレッシブに動いて撮影を！

記事と写真は編集委員の腕の見せ所！もっと読んでいて、写真を見てドキドキするような臨場感と筆者の感

想を！！！！

主語と述語の関係が途中からわからなくなる文章が多いので、句読点を効果的に使い、筋の通る美的文章にしましょう。

編集している私が熱くなる文章、写真は編集作業のモチベーションに繋がります。

ついでに私の写っている写真を送ってくださるとなお一層モチベーションが上がります。

よろしくお願いします。